

杉野小中だより

12月号

平成28年12月22日発行 (文責: 脇坂 武浩)

箱根駅伝に学ぶ

中学校教頭 脇坂 武浩

毎年、1月2日、3日に行われる「東京箱根間往復大学駅伝競走」(以下、箱根駅伝)を見ておられる方も多いと思います。今から20年位前、たまたまお正月に見た箱根駅伝で、母校の襷(たすき)を繋ごうとして懸命に走っている学生ランナーの姿に、私はいつの間にか駅伝ファンとなり、この箱根駅伝を観るのを毎年楽しみにしています。

箱根駅伝の歴史は、大正9年(1920年)に始まり、来年の2017年大会で実に93回目を迎えることになる。この箱根駅伝に出場するには、本大会で10位以内(シード)に入るか、10月に行われる「予選会」で10位以内に入らないと出場できない。

今年の予選会(12名のうち上位10名の合計タイムで争う)は過去最高の50校が本大会出場をめざし、大混戦の予選会だった。

大正14年の初出場以来、87回連続出場してきた箱根常連校の大学が予選落ちするなど、本大会に出場するのはたいへん難しく、とても険しいレースとなった。上位10人のうち、ひとりでもブレーキ(失速)になれば、本大会出場への切符は大きく遠のく。

その中で、ここ2、3年で大きく飛躍した大学がある。原晋(はらすずむ)監督率いる「青山学院大学」(以下、青学)である。青学は、1976年の途中棄権以来33年間箱根駅伝に出場しておらず、5年でシード権、10年で優勝争いを託された。原監督は、監督に就任するなりビジネスマン時代に培ったノウハウをもとに今までにない指導法で、2015、16年箱根2連覇、2016年全日本初優勝、2015、16年出雲2連覇と、今年度の3大駅伝のうち2大会で優勝する強豪校に育て上げた。狙うは、2017年箱根駅伝3連覇だ。

その指導とは、「一.感動を人からもらうのではなく、感動を与えることのできる人になろう。一.今日のことは今日やろう、明日はまた明日やるべきことがある。一.人間の能力には大きな差はない、あるとすれば、それは熱意の差だ。」この3カ条を寮に張り出し、口に出さず毎日のように文字を目で見ることで、選手の意識改革を図った。そして、今までのスポーツ界にありが

ちな上下関係を撤廃し、妻との二人三脚で、和気あいあいと楽しんで競技に臨むチームの雰囲気をつくった。体育会系では考えられない手法だ。そうやって選手の「自立心・主体性」を培った。

やがて、選手を叱ることはなくなった。その結果、当初の計画通り就任10年でみごと箱根優勝を飾った。発想の転換が必要とよく言われるが、そう簡単にはできるものではない。それをみごとやり遂げ、結果を出した原監督の指導論には学ぶべきものがある。

駅伝は個人種目ではなく「団体種目」。学校教育も同じだと考える。来年の箱根駅伝を楽しみにしつつ、杉野小中学校の児童・生徒のさらなる成長のために、原監督の「3カ条」をヒントに、杉野小中の教職員がそれぞれの持ち味を生かし一丸となって、今後も本校ならではの特色ある教育活動を実践していきたい。

最後になりましたが今年1年、多岐にわたりまして多くの皆様にご支援をいただきありがとうございます。来年も本校教育活動の推進に、温かいご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。良いお年をお迎えください。

本年度の人権週間の取組

本校では人権週間に合わせテーマを設定し、12月1日～8日までの期間に、人権についての学習を進めています。中学校は「共生：共に生きる」をテーマに取組を実施しました。小学校、中学校のそれぞれの取組を紹介します。



<中学校の取組>

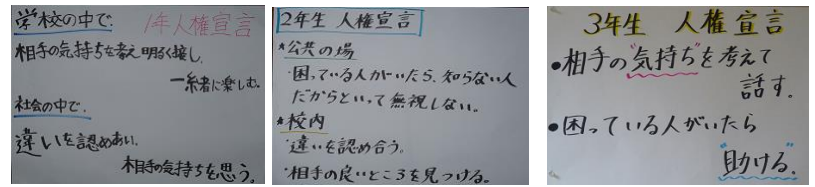
12月2日(金) 人権主任の先生より「人権週間の意義」や、今年度の学習内容を説明する。

12月3日(土) 1校時 道徳授業(授業参観)
2、3校時 PTA人権研修会 講師「山野勝美氏」

講師の山野勝美さんは、ご自身が視覚に障害をもっておられます。現在、視覚障害者福祉協会の副会長として、視覚に障害を持つ方々の自立と社会参加を支援する活動を行っておられます。今回、パートナーである盲導犬ウィットくんを連れて講演をしてくださいました。



12月5日(月)～8日(木) 朝読書の時間帯を使って人権学習。
12月7日(水) 学級の人権宣言について話し合う。



【各学年の「人権宣言」】

<小学校の取組>

小学校は「思いやり、ささえ合い」をテーマに学習を進めました。小学校の人権学習の取組を紹介します。

12月1日(木) 人権集会を実施
校長先生と人権主任の先生の話聞く

12月3日(土) 中学校と同様



【各学年の人権学習(授業参観)の様子】

12月5日(月)～8日(木)

『杉野 心の木』～実、葉、花でいっぱいになろう～
(さわやかタイム、学活、朝の会、帰りの会を利用して書く)



このように、友達から言ってもらってうれしかった言葉や人のよいところを紙に書いて職員室前に掲示しています。

<児童、生徒の活動の様子>

【新生徒会長、副会長決まる！(中) 11/25(金)】



生徒会選挙 立会演説会



投票の様子

11月25日(金)に次期生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に久保田昂紀さん、副会長に宮前沙耶さんが選ばれました。軌道に乗るまで、最初は苦労すると思いますが、今まで受け継がれてきた伝統を守り、さらに発展させていけるよう、みんなの中心となって頑張ってください。

【小学5、6年と中学1年の英語合同授業 11/30(水)】



11月30日(水)に、中学生が小学生に英語で杉野中学校の教室を紹介する英語の合同授業が行われました。

最初、中学生は緊張した面持ちでしたが、徐々に雰囲気慣れ、堂々と教室紹介をしていました。小学生も、英語による学校紹介を中学生に聞いてもらい、アドバイスを受けていました。本校ならではの、特色ある教育活動の一つです。

【ロープジャンプ大会予選会(小) 12/6(火)】

12月6日(火)に、高時小学校でロープジャンプ予選会が行われました。予選会では、2回の合計で671回跳ぶことができ、本戦での活躍が期待されます。本大会は、12月22日(木)の午後に行われます。当日の様子につきましては、次号の学校だよりでお知らせします。

【小中合同給食 12/9(金)】



食に関するクイズ



中学生の人権宣言発表

小中学生、職員と一緒に給食を食べながら楽しい時間を過ごし、交流を深めるため、また、委員会の児童生徒が食に関する発表をして、食に関する関心を深めるために、学期に1回、厚生給食掲示委員会を中心となって小中合同給食を実施しています。加えて今回は、人権週間で学習をしたまとめとして、中学生が各学年ごとに決めた「人権宣言」の発表もあり、とても中身の濃い小中合同給食を実施することができました。

杉野コラム

言葉のあたたかさ

杉野中学校 伊部 愛理

杉野にもいよいよ雪が降り、思わず「寒いね」と言ったところ、ある生徒が「寒いですね」と答えてくれました。一見当たり前の会話のように思えますが、ふとした会話ができる相手がいれば、心はとても温かくなります。

日常生活を振り返ってみると、授業や部活、その他さまざまな時間を中学生と過ごしていく中で、ふと交わす言葉の数々があったことを思い出します。そのときそのときの生徒の表情や声のトーンも一緒に頭の中に映像として流れ、思い出す度に心がほっとすることがあります。いかに、日頃から子どもたちに元気をもらっているかに気付かされます。

言葉に秘められた不思議な力のことを言霊(ことだま)と言いますが、本当に言葉には人を元気にし、支えとなるようなパワーがあると思います。これからますます冷え込み寒くなりますが、そんな言葉が多くの人と交わしたら、きっと心は温まり、幸せな気持ちになれるはず・・・

一つひとつの言葉を毎日大切にしながら、自分の口から出る言霊を磨いていきたいと思う今日この頃です。

1月の行事予定

	小学校	中学校
1(日)	元旦	
2(月)		
3(火)		
4(水)		
5(木)		
6(金)		
7(土)		
8(日)	長浜市成人式	
9(月)	成人の日	
10(火)	交通指導、3学期始業式、職員会議	
11(水)	身体測定(小学校) 1, 2年確認テスト、3年実力テスト(中学校)	
12(木)	小中委員会活動 身体測定(中学校) 書に親しむ杉っ子教室(小学校)	
13(金)	第5回PTA運営委員会	カルタ大会(中学校)
14(土)		
15(日)		
16(月)	交通指導、安全点検 ふるさと学習(そば打ち：中学校)	
17(火)	給食指導(小学校)、小中合同クラブ 校内書き初め展(~27日)	
18(水)	校内研究会	
19(木)	食育の日、スクールカウンセラー来校日	
20(金)	第5回学校運営協議会	
21(土)		
22(日)		
23(月)	学校給食週間(~27日)	
24(火)	杉の子(小)	
25(水)	職員会議	
26(木)	給食感謝祭	
27(金)	中学校入学説明会 第2回杉野学区教育振興会役員会	
28(土)		
29(日)		
30(月)		2年生進路・修学旅行説明会
31(火)	読み聞かせ、クラブ	

